



目次

3月定例会

| | |
|----------------------------------|--------|
| 令和7年度一般会計予算を可決 | P 2~3 |
| 議会のライブ配信がスタート! | P 3 |
| 賛否の分かれた議案、討論 | P 4 |
| 村政を問う! (代表・一般質問) | P 5~13 |
| 委員会レポート | P 13 |
| 6月定例会日程 (予定) / まちづくりNew Face ... | P 14 |

3月31日に開催された
「東海村70歳のお誕生会」

3月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和7年第1回定例会（3月議会）は、3月3日から27日までの会期で開催しました。

11日から14日までの4日間に12人の議員が代表および一般質問を行い、17日からの予算決算委員会では、一般会計・特別会計それぞれの当初予算および補正予算を審査しました。27日の議案審議では、令和7年度予算など村長提出議案を含む72件全てを可決・同意しました。

令和7年度一般会計予算 総額239億4,700万円を可決

東海村第6次総合計画に代わる新たな計画「まちづくりの羅針盤」スタートの年を迎えるにあたり、人口減少対策、新たな基盤整備、DXの推進、安全・安心の確保、村発足70周年事業を重点的な取り組みとして編成された予算案を賛成多数で可決しました。

賛成 (14)

反対 (3)

賛成議員の主張

越智 辰哉 議員

多様化する住民ニーズに応えるタイムリーな新規事業や積極的な予算措置を大いに評価するが、歳出規模が過去最大となったことから、歳出を抑制すべく既存事業の精査・見直しを進めながら予算執行すべき。

反対議員の主張

大名 美恵子 議員

東海第二原発中央制御室内で火災を発生させた日本原電への対応では、新年度早急に6市村懇談会を開き原電の説明後に協議を行い「再稼働は危険過ぎて認められない」と意思を伝えること。その予算化が必要だった。

村発足70周年記念事業

本年3月31日、本村は発足70周年を迎えました。3月30日、31日の「東海村70歳のお誕生日会」を皮切りに、3月定例会において議会で可決した令和7年度一般会計予算に含まれた各種記念事業では、7月6日開催予定の「記念式典」をメインイベントに、7月5日の「前日祭・前夜祭」の開催のほか、「東海まつり花火大会の拡充」、「プレミアム付き商品券の発行」、「公開テレビ番組の招致」などが展開される予定です。



東海村70歳のお誕生日会の様子（3月30日）

議会注目の事業



こども・わかもの応援給付金

近年、教育費に係る負担が増加していることから、こどもやわかものの学びや挑戦の機会を支援することを目的に、1人当たり6万円が支給されます。

■予算額 2億7,600万円

带状疱疹ワクチンの接種費用助成

令和7年4月から定期接種として実施される带状疱疹ワクチンの接種について、定期接種の対象とならない方(希望する50歳以上の方)に対しても接種費用の一部が助成されます。

■予算額 806万円

コミュニティセンターのバリアフリー化

2階建てコミュニティセンターにおけるバリアフリー化を推進するため、石神・村松・白方コミュニティセンターのエレベーター整備に向けた実施設計が行われます。

■予算額 704万円

住宅防犯対策への補助

「闇バイト」による強盗被害や特殊詐欺被害などの犯罪が増加していることから、既存住宅の防犯対策など(カメラ付きドアホンなどの購入設置)に対する補助が行われます。

■予算額 300万円

主な大規模工事(施設改修等)

| | |
|-----------------|------------|
| ■文教地区駐車場整備第2期工事 | 約2億8,300万円 |
| ■阿漕ヶ浦公園整備工事 | 約2億2,100万円 |
| ■清掃センター長寿命化工事 | 約2億500万円 |

議会のライブ配信がスタート!

スマートフォンやパソコンなどから議会中継を視聴できる「ライブ配信」が、令和7年3月定例会から開始しています。3月定例会では累計501件のアクセスがあり、多くの方に視聴していただきました。今後も、引き続きライブ配信をご活用ください。

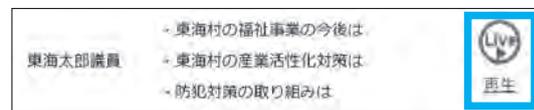
※視聴にかかる通信料は、視聴者負担となります。



▲右側に「LIVE」のアイコンがある会議名をクリック。



▲右側に「LIVE」のアイコンがある日付をクリック。



のアイコンをクリックするとライブ配信が視聴できます。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

| 議員名 議案等名 | 新政とうかい | | | | | | | | | | | 公明党 | | 光風会 | | 結果 | | | | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|----|------|-------|------|----|
| | 飛田静幸 | 大内則夫 | 越智辰哉 | 河野健一 | 吉田充宏 | 寺門定範 | 笹嶋士郎 | 三上修 | 松江秀明 | 川崎克彦 | 川崎裕弥 | 宮本翔太 | 岡崎悟 | 植木伸寿 | 恵利いつ | | 村上志保 | 大名美恵子 | 阿部功志 | |
| 議案第11号 | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 | |
| 議案第16号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 議案第21号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 可決 | |
| 議案第33号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 | |
| 議案第34号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 | |
| 議案第35号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 議案第36号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 議案第59号 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 | |

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

| | |
|--------|--|
| 議案第11号 | 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 刑法等の一部を改正する法律の施行により、懲役および禁錮が廃止され、これらに代えて拘禁刑が創設されることに伴い、関係条例の整理を行うため、条例を制定するもの |
| 議案第16号 | 東海村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 令和6年人事院勧告等を踏まえ、一般職の給料表の改定、扶養手当の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの |
| 議案第21号 | 東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険事業の安定的な運営を図る観点から、税率等を改めるとともに、未就学児に係る均等割額の減額規定の誤り等を修正するため、条例の一部を改正するもの |
| 議案第33号 | 令和7年度東海村一般会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ23,947,000千円とするもの |
| 議案第34号 | 令和7年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ3,036,325千円とするもの |
| 議案第35号 | 令和7年度東海村後期高齢者医療特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ677,080千円とするもの |
| 議案第36号 | 令和7年度東海村介護保険事業特別会計予算 保険事業勘定の予算総額を歳入歳出それぞれ2,976,968千円とし、介護サービス事業勘定の予算総額を歳入歳出それぞれ3,725千円とするもの |
| 議案第59号 | 業務委託契約の締結について（公共施設包括管理業務委託） 対象公共施設の維持管理業務の一部を民間事業者へ委託するもの |

議案第59号
公共施設包括管理業務委託は、旧安倍政権の「公的サービスの産業化」方針に基づくもの。「住民の福祉の増進を図る」ための村の業務を民間大企業の営利の対象に開放すること。地方自治を根底から変質させることは反対。

議案第11号
全ての受刑者に刑務作業と指導が義務付けられることは刑法典の刑罰体系を根本から変えるもの。厳罰化や人権侵害を招く恐れがある。本改定は現代の国際的な人権保障の流れにも逆行していると考えられ認められない。

大名美恵子議員

反対討論

討論とは…
自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

村政を問う!

代表質問 一般質問

代表質問

飛田 静幸 議員 (会派:新政とうかい) P.6

- 1 予算編成と財政見通しについて
- 2 村発足 70 周年の取組について
- 3 原子力政策について
- 4 人口減少対策について
- 5 新たな基盤整備について
- 6 DX の推進について
- 7 安心・安全の確保について
- 8 産業振興について
- 9 村長選挙への対応について

植木 伸寿 議員 (会派:公明党) P.7

- 1 村政運営の考えは
- 2 学校教育の取組は
- 3 行政運営の考え方は
- 4 庁舎窓口・執務エリア整備の取組は
- 5 産業振興の取組は
- 6 住民の安全・安心を確保する取組は
- 7 認知症対策支援の充実は
- 8 防災対策推進への取組は

恵利 いつ 議員 (会派:光風会) P.8

- 1 今後 5 年間の村政運営の基本となる新たな総合計画「まちづくりの羅針盤」とは
- 2 子育て支援策の強化と新たな柱「こども・わかもの」政策について
- 3 窓口改革とオフィス改革 住民に親しみやすい改革となるために
- 4 国道の 4 車線化に伴う、村松・石神地区の新たな整備計画は
- 5 指定管理契約満期、村民にさらに頼られる東海病院へ
- 6 中央制御室火災により不安が増した東海第二原発問題
- 7 70 周年記念事業

一般質問

岡崎 悟 議員 P.9

- 1 2階建てコミセンへのエレベーター設置について
- 2 村独自の带状疱疹ワクチンの接種について
- 3 防災行政無線から流れる昼と夕方の音楽について
- 4 孤独・孤立対策の取組について

吉田 充宏 議員 P.9

- 1 人口減少への対応について
- 2 下水道の維持管理について
- 3 文教地区の駐車場について
- 4 災害発生時の情報周知について

宮本 翔太 議員 P.10

- 1 ふるさと納税の現状と今後の戦略
- 2 空き家対策の現状と今後の方針
- 3 ヘルメットの着用促進
- 4 国保の持続可能性と公平な負担の在り方

松江 秀明 議員 P.10

- 1 わかものまちづくりに向けた取組を問う
- 2 除去土壌の処分の進捗と今後の取組を問う
- 3 带状疱疹のワクチン接種促進の取組を問う

阿部 功志 議員 P.11

- 1 避難計画における渋滞対策、駐車場対策などは
- 2 屋内退避に対する村の考えは
- 3 原電の中央制御室の火災に対する村長の見解は
- 4 東海第二原発がロシアの攻撃対象リストにあることについて見解は
- 5 下水道の老朽化対策は
- 6 村内公共施設利用における営利の基準とその見直しは

川崎 裕弥 議員 P.11

- 1 干し芋の残渣活用と支援
- 2 教員研修の実績と課題及び支援体制
- 3 ふれあいトークの実績と仕組み

村上 志保 議員 P.12

- 1 不適切なごみ投棄に対する対策について
- 2 わかものまちの推進の今後の展開について
- 3 障がい者福祉における地域生活支援拠点等の整備について

三上 修 議員 P.12

- 1 空き家侵入窃盗の対策はいかに
- 2 子どもと大人の居場所づくりの整備
- 3 村が運営を補助する団体の管理状況
- 4 本村を支える常陸那珂港の振興対策はいかに

大名 美恵子 議員 P.13

- 1 自衛隊への個人情報提供に関連して
- 2 こども誰でも通園制度について
- 3 地域医療の充実のために
- 4 原子力科学研究所所有の低レベル放射性廃棄物入りのドラム缶のさびについて
- 5 東海第二原発の中央制御室内での火災発生を受けて

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



問 本村の財政見通しは大丈夫か

答 持続可能な財政運営を行う

問 令和7年度の一般会計の予算規模は前年度比で10・7%増であり、過去最大規模の予算案となった。こうした大型予算となった背景・経緯は。

答 令和7年度当初予算が過去最大規模となった要因としては、人事院勧告の反映、物価高騰に伴う経常経費増のほか、「枠外経費」として「まちづくりの羅針盤」の重点政策パッケージ等の着実な推進に向けて、こども・わかものへのライフステージに応じた支援庁舎窓口・執務エリアの再整備、雨水浸水被



70周年懸垂幕



東海まつり花火大会

問 令和7年度の村税収入がわずかな増加見通しの中、歳出規模が膨らんだことにより、不足分の多くは財政調整基金に頼ることとなる。今後の基金の見込み、本村における基金の在り方はどうか。

答 財政調整基金の残高推計は、



新政とうかい
とびた しずゆき 議員
飛田 静幸

令和7年度末で約40億円であり、19億円の減少を見込んでいる。また、本村における基金の適正規模は、一般的には標準財政規模の20%程度と言われており、この計算によると本村は約22億円となる。しかし、歳出額の抑制や国県支出金のさらなる活用、村債による負担額の平準化等を通じて持続可能な財政運営を行ってまいりたい。

問 村発足70周年の事業展開は

前夜祭」として、村ゆかりのアーティストとプロジェクトによるマッピングのコラボによる記念コンサートのほか、記念マルシェを開催する。また、公開テレビ番組の招致や郵便局と連携した記念切手の発行、さらに7000発の花火を打ち上げる東海まつり花火大会やプレミアム付き商品券の発行など全16事業を展開していく。

問 間もなく村発足70周年を迎えるが、どのような事業展開を予定しているか。

答 7月6日に東海文化センターで記念式典を挙行し、村政にご貢献いただいた方々の表彰を行うほか、前日の7月5日は「前日祭・

問 安全・安心を確保する施策は

答 犯罪抑止・防止の視点で取り組む



住宅に設置された防犯カメラ

【答】令和7年度より「住宅防犯対策への補助制度」を創設し、既存住宅に「防犯カメラ」「センサーライト」などを設置する際に費

【問】昨年12月ある女性から相談を受けた。自宅に工務店と称し「お宅の屋根は修繕が必要」と言われその場は断ったが、後日、知り合いの業者に確認して

もらったも異常は見当たらなかった。また、男性はあらかじめこちらの家族構成まで把握して訪問してきたことにも気付き「恐怖心を拭い去れない」との話であった。事案を踏まえ村はどう取り組むのか。



公明党 議員 植木 伸寿

代表質問

【問】学校教育と社会教育の融合は

【答】「とうかいっ子」育成プランを

【問】日本全国で、2020年以降住宅火災による死者数が増加傾向となっている。住民の安全を確保する観点から、火災警報器設置に向けた考えを伺う。

【答】火災警報器は、消防法で全ての住宅への設置が義務付けられている。今後、高齢者世帯への点検などに重点を置き取り組む。

用の一部を補助する。防犯設備の普及を後押しし、凶悪事件等に対する住民の不安解消と安全・安心なまちづくりを推進する。

【問】東海村への郷土愛を醸成し、将来ここに住みたい、住むことはなくても故郷としてもいつまでも大切にしたい」との思いを

【答】東海村を幅広く、深く知る機会を設け、愛着が持てるよう取り組みたいと考えている。小学1年から中学3年までの9年間をかけて総合的な学習の時間を中心に、生活科や社会科学の授業で、東海村について計画的・体験的に探究する「とうかいっ子育成プラン」を段階的にスタートさせる。



「とうかいっ子」育成プラン郷土かるたの作成

問 問題続発、今こそ判断すべき時

答 再稼働の是非、現時点ではしない



村と県が共に立ち入り調査を実施した
中央制御室の火災現場



光風会
えりいつ 議員

問 東海第二原発はこの3年間で10回、さらに中央制御室でも火災発生。防潮堤基礎部の工事不良など、度重なるトラブルを起こしている。「再稼働は認められない」と、立地自

答 火災については要請に対する原電の回答を見極めたい。再稼働の是非は、要件が残っているもので、現時点で申

問 住民が安心して住み続けられる村を目標とする。東海第二は運転開始から46年経過の

ことにはな

老朽原発。永遠に稼働できるわけではない。原発に頼らないまちづくりを今から考えておくべきでは。

問 地域医療の充実につながる具体的な取り組みは。

答 東海病院が保有するMRIやCT装置など、高度な医療機器を地域の医療機関と共同利用。他の医療機関から依頼される検査数は年々増加。

問 安心して住み続けるには地域医療の充実が不可欠。東海病院はその中核をなすべき病院。これまでの医療体制をどのように評価しているか。課題は何か。

問 窓口改革とオフィスの改革とすべき

問 健康者目線の改革になっているか、障がい者へのヒアリングは。

地域医療振興協会が指定管理者として運営する東海病院

問 带状疱疹ワクチン接種助成を

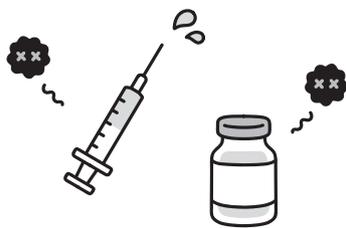
答 村 50 歳以上の申請者に助成

問 村に求めていた、带状疱疹ワクチンへの接種助成を行うとのこと。その内容は。

答 国による带状疱疹ワクチンは、令和7年4月から、予防接種法のB類疾病に位置付けし、年度内に65歳を迎える方と、5年間の経過措置として70歳から100歳までの5歳刻みの年齢になる方を対象に定期接種として実施することが決まった。国の審議会で、带状疱疹ワクチンの有効性・安全性等が承認され、带状疱疹の罹患率は一般的に70歳代がピークで、加齢がリスク要因



公明党
おがき さとる 議員
岡崎 悟



令和7年度から始まる带状疱疹ワクチンの接種助成事業

とされている。さらに、50歳代から罹患者数が増加している状況を踏まえ、村独自の任意予防接種助成として50歳以上の方を対象とすることで、定期接種を待たずに接種を検討する機会を提供できると考えている。希望者は健康増進課で申請が必要である。ワクチンの助成額は、生ワクチンを選択した場合は4千円を1回、不活化ワクチンを選択した場合は1万円を2回の助成が受けられる。

問 人口減少対策には大胆な施策を

答 魅力ある取り組みで36,000人維持

問 社人研の推計だと、村の人口は2050年までに4300人ほど減少する想定。2015年より「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少対策を実施しているが、その成果と評価は。

答 第1期の目標は全て未達成。第2期は6項目中4項目が未達成であったが、第1期の課題を踏まえて取り組みを発展させた結果、2項目を達成できた。令和7年度から始まる第3期で、改めて目標達成に向け取り組みをほぼ未達成。より大胆



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏



人口減少対策を定めた「東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略」

な施策が必要で、原子力機構の団地を購入し子育て世代への格安での提供、各家庭への無料WiFiの設置など、検討の余地がある。また、他自治体との戦略的な連携も必要と考えるがどうか。

答 定住促進住宅建設の可能性を研究していく。無料WiFiは公共施設の環境整備後、まずは大規模公園等に範囲を拡大したい。村独自の魅力ある取り組みと広域連携事業の双方により3万6000人を維持していく。

問 中学生用ヘルメットの見直しは

答 令和8年度から新型導入予定

問 現在の中学生用ヘルメットは、安全性に優れる一方、工事用ヘルメットに似た見た目から、登下校以外では着用しにくいとの声もある。一般的なヘルメットの方が通気性も良く、制服にも合い、日常的にかぶりやすい印象を受ける。先進地域では複数のデザインから選べる制度も導入されており、本村でも、生徒がかぶりたくなるヘルメットの導入や選択肢を広げる工夫が必要ではないか。また、事故再現型の体験を通じた安



新型ヘルメットのイメージ図

答 スポーツタイプや街乗り向けのヘルメットは軽量で通気性も良く、休日にも着用しやすいため、着用促進が期待できる。令和8年度からのデザイン変更を検討しており、選定には教員だけでなく生徒の意見も取り入れる。生徒も選択に関わることは着用率向上のためにも有効だと考える。体験型の交通安全教育については、他自治体の事例を調査し、本村に適した形の導入を検討する。



新政とうかい
みやもと しょうた 議員

問 除去土壌処分事業の進捗は

答 除去土壌埋設試験等で効果を実証

問 本村における除去土壌処分実証試験事業の進捗は。

答 原子力機構・原子力科学研究所敷地内において福島第一発電所事故に伴う除去土壌の表面線量や周辺放射能濃度の測定、除去土壌埋立作業中と作業後の浸透水への溶出試験、草木等の除染廃棄物から分別した除去土壌の保管管理などを実施した。その結果、除去土壌の埋立作業に伴う被ばく線量が年間1ミリSvを下回ることで、覆土・散水などが作業員への被ばく対策に有効であ



新政とうかい
まつえ ひであき 議員



環境省・関連自治体による草木等除染廃棄物からの除去土壌分別作業の視察

ること、埋立作業中から埋立後において除去土壌の飛散・流出、地下浸透などによる周辺環境への影響が見られないことを確認した。本事業の成果は、環境省の除去土壌処分に係るガイドラインに反映され、今後、福島県外における除去土壌処分に活用される。

問 今後の事業計画は。

答 策定されたガイドラインに基づき、除去土壌の維持管理を伴う埋立処分に向け、環境省および原子力機構との調整を進める。

問 原子力災害の避難で 渋滞する所は

答 高速道路出入口や避難経路所付近

問 原子力災害の避難計画は未解決の課題が山ほどある。避難する時、渋滞する地点は。在宅の避難行動要支援者で、支援してくれる人が決まっている人の数は。福祉車両などの移動手段が確保できている人の数は。

答 主要交差点、高速道路の出入口、避難経路所付近の渋滞が想定される。要支援者の登録は2月1日で97名。支援するのは住民福祉班180人超だが、応援が必要な国や県と連携する。福祉車両が必要な方は13名。村内の車両を優先的に使用するが初動で応援が必要なため県に手配し順次避難先へ搬送する。



あべ こうし 議員



避難時に大渋滞が予測される
東海スマートインター入口

問 自力避難が難しい村民は1500人以上はいる。それを100人程度で収めようとする消極的な村の姿勢を批判する。原発問題は原発を動かさないと生じる問題と動かした時に生じる問題とを並立比較して村民に示す義務が村にはある。歩行困難な人が一時集合場所まで移動する手段は。

答 住民福祉班が村内にある車両を優先的に使って搬送予定。

問 ほしいもの^{ざんさ}残渣活用と支援は

答 生産者の実情に応じた助言や指導

問 今後のほしいもの残渣活用の支援は。

答 関係法令等に基づき適正な処分または有効的な活用を行ってもらうよう、先進的または優良的事例紹介などの情報提供をはじめ、学習会の実施および生産者の実情に応じた助言や指導等を行う。令和7年度新規事業として「ほしいも残渣活用定着化推進事業」を予定しており、ほしいも加工で発生する残渣の飼料化や堆肥化等について、農業分



新政とうかい
かわさき ゆうや 議員



食品ロス 地域課題解決学習
ハンドブック(茨城大学H2P出版)

問 東海村長のほしいも産業に関わる事業者に対する考えや展望は。

答 ほしいも日本一の産地として、これまで恵まれた気候風土と先人たちの努力と知恵が今日の東海村の「ほしいも」を作り出したことは確かであり、今後とも継承していきたい。残渣の問題等を含め、生産者が抱える課題等に向き合い、課題解決に向け、国や県などが行っている支援策なども踏まえ生産者に寄り添った取り組みを考えていきたい。

問 地域生活支援拠点等の整備状況は

答 令和7年度の整備完了を目指す



光風会 議員
むらかみ 村上 志保

問 障がい者の重度化・高齢化および「親亡き後」に備えるとともに、緊急時の対応および施設や病院等からの地域移行の推進を担うことを目的とする地域生活支援拠点等の整備は、令和6年度から障害者総合支援法に位置付けられ、市町村に対し整備の努力義務が設けられている。村における整備状況と課題は。



出典：厚生労働省HP (<http://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001263974.pdf>)

「拠点コーディネーターガイドブック」の資料一部抜粋

答 地域における複数の機関が分担して機能を担う「面的整備型」の体制整備に向け、検討してきた。課題は本村の関係機関や事業所がそれらの機能をどう担うか、拠点コーディネーターをどう確保し配置するかにある。

問 いつ頃の整備完了を目指しているか。

答 令和7年度中を目指す。

問 地域生活支援拠点等の早期整備に向けての村長の姿勢、思いは。

答 障がい者総合支援協議会や障害福祉サービス事業者など関係者とともに丁寧な協議し、地域全体で障がい者の地域生活を支えるよう努めてゆく。

関や事業所がそれらの機能をどう担うか、拠点コーディネーターをどう確保し配置するかにある。

問 いつ頃の整備完了を目指しているか。

答 令和7年度中を目指す。

問 地域生活支援拠点等の早期整備に向けての村長の姿勢、思いは。

答 障がい者総合支援協議会や障害福祉サービス事業者など関係者とともに丁寧な協議し、地域全体で障がい者の地域生活を支えるよう努めてゆく。

問 空き家侵入窃盗等の対策は

答 防犯対策費用の一部を補助



新政とうかい 議員
みかみ おさむ 三上 修

問 村内で空き家の侵入窃盗事件が発生、社会問題になってきている「闇バイト」の強盗傷害事件も相まって、村民に脅威を与えている。本村の対策は。

答 誰がみても管理者不在と思われてしまうような空き家については、犯罪に利用されやすくする傾向にあるため、本村では空き家対策の適正な管理等について、防犯に関する周知も併せて行うなど、空き家対策の所管課や警察とも連携を図る。

問 本村には民間事業者のケーブルテレビ

このインフラを利用して防犯カメラを設置しつつ、防犯情報を放送することは犯罪抑止にも効果的。本村の見解は。

答 防犯カメラの普及構想は、令和7年度から、新たに「住宅に対する防犯対策への補助制度」を創設する。これは、既存住宅に「防犯カメラ」や「センサーライト」などを設置する際にかかる費用の一部を補助するもので、住民の防犯設備の普及を後押しし、凶悪事件等に対する住民の不安解消につなげる。



村内に設置された防犯カメラ(駅東地内)



問 村の地域医療充実に必要なか

答 医療圏や市町村間の広域連携など



おおな みえこ 議員
大名 美恵子

問 村立東海病院における地域医療への対応や課題は何か。

答 予防医療を通じた健康意識向上や健康管理への貢献、骨関節疾患に対応した整形外科手術治療、地域包括ケア病棟での在宅復帰支援、通所リハビリテーションによる退院後の継続支援のほか、訪問看護も開始した。

課題としては、医療スタッフの確保、事業の採算性、既存の診療科目とのバランスなど経営的視点での運営。

問 東海病院の充実と同時に村行政に協力をいただける医師や病院

答 確保をどう考えるか。安心できる地域医療体制の構築が求められていることは認識している。

地域全体における医師の確保など、充実した地域医療の実現は、市町村単独では大変難しい。医療圏や市町村間の広域連携や協力的体制による対応が必要と考える。地域の医師のほか、県や近隣自治体、医師会、関係機関等で構成される各協議体に引き続き参加し、医療体制の構築に寄与できるように努める。



東海病院で開催された吉村医師による「第13回健康公開講座」の様子

委員会レポート

総務委員会

熊本市・菊陽町を視察しました

総務委員会では、1月27日、28日に行政視察のため熊本県熊本市と菊陽町を訪問しました。

①熊本市「熊本市公式LINEの市民通報機能」

熊本市では、公式LINEでインフラ（道路等）の不具合を地図や写真を添付し通報する制度を取り入れています。現場確認の効率化や通報の手軽さがある一方で、通報後の体制整備も重要であることを確認してきました。

②菊陽町「光の森防災広場と防災の取り組み」

菊陽町光の森防災広場は、防災備蓄棟やシャワー室が備えられた避難室などが整備されました。防災備蓄棟には支援物資の整理のためにフォークリフトや可動式の棚が整備され、有事の際の対応が考えられていました。



菊陽町防災センターで防災の取り組みについて説明を受ける委員

BANCO (バンコ)



まちづくり New Face

新たに村に仲間入りした店舗や団体などを紹介。
地域に貢献する活動を応援していきます。



BANCO ではフランス・スペイン・イタリア・日本・その他、世界中の料理のエッセンスが入ったジャンルにとらわれない多彩な料理とお酒で地域の皆さまにとって気軽に通えるお店をと思い、令和5年の11月にオープンしました。食材は地産地消を目指し、その中でも「旬」をテーマにメニューを構成し、さらに、季節ごとに変わる特別メニューやイベントも企画して、常に新しい体験を提供することを心掛けています。また、接客ではお客様との会話を軸とし、日々サービス向上に努めています。今後も、美味しい料理と心温まるサービスを多くの方に喜んでいただけるよう、一緒に働いてくれるスタッフたちと地域に根付いた楽しいお店づくりを目指していきます。



笑顔と個性があふれるスタッフ

表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ

3月31日、「東海村70歳のお誕生会」が開催されました。子どもたちの元気な歌やハピネス東海の合奏、東海高校ジャズバンド部の演奏、大空を彩る700個の風船とたくさん笑顔で記念の年がスタートしました。

傍聴から
はじめよう!

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は42名



6月 定例会日程(予定)

| 期日 | 時間 | 内容 |
|----------|--------|------|
| 6月2日(月) | 午前10時～ | 議案上程 |
| 6月10日(火) | 午前10時～ | 一般質問 |
| 6月11日(水) | 午前10時～ | 一般質問 |
| 6月12日(木) | 午前10時～ | 一般質問 |

については
インターネットでライブ配信



| 期日 | 時間 | 内容 |
|----------|--------|---------|
| 6月13日(金) | 午前9時～ | 予算決算委員会 |
| 6月16日(月) | 午前10時～ | 予算決算委員会 |
| 6月19日(木) | 午前10時～ | 議案審議 |

※日程は変更になる場合があります。

※議案上程・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。